

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。</p> <p>田村： ちょっとご報告がありまして、この度、私、散髪に行ったんですが、前髪が少し長かったので、自分で切りました。</p> <p>藤井： なんか確かにガタガタですけど。びっくりしました。 すごい衝撃発言が…、お子さん生まれたかなと思いましたけど、なんかすごいショボい報告でしたね。 でも、アシンメトリーみたいな感じで良いんじゃないですか。</p> <p>田村： 生まれました。</p> <p>藤井： え！本当に！？おめでとうございます！</p> <p>田村： 無事に長男が。</p> <p>藤井： さっき控室で「生まれたんですか？」って聞いたら「まだなんです」とか言ってて…。</p> <p>田村： オープニングで前髪を切った話したかったから嘘付きました。</p> <p>藤井： 生まれたんですか！？</p> <p>田村： はい。無事に生まれまして、今は奥さんが入院してるので、今朝も子どもたちの用意して、保育園に行かしてとか全部やってきました。</p>

藤井：

うわー！素晴らしい！どうりで顔がシャキッとしてると思いました。
パパの顔になってるー！

田村：

いやいや！そんなん言うてなかったやん！ズルいですよ、それは！

藤井：

パパの顔になってる。

田村：

「なんか今日すっきりしてますよね」とか楽屋で言ってないと、
生まれた報告聞いてから「パパの顔に～」とか、ズルい、それは。

藤井：

「阿藤快さんに似てますね」って言いましたよ。

田村：

それは関係ないやん。パパ感が全然ないやん。

藤井：

おめでとうございます！もお～感動。

田村：

ありがとうございます。3月8日に無事に生まれました。
生まれた顔が上の子とそっくりなんですよ。1人目、2人目、3人目、
全員全く一緒に、僕をギューっと縮めたような顔してますけど。

藤井：

田村さんの顔なんですか？

田村：

この辺とか、そのまんま俺なんですよ。ここ長くて、鼻とかもホンマに。

藤井：

可愛いね～。可愛いね～って言っちゃった。可愛いでしょうね。
おめでとうございます！

田村：

と、ということで、すいません。

藤井：

なおさら頑張ってもらわないと。

田村：

そうなんですよ。

そんな折に今、コロナウイルスが蔓延してるというので。

僕、移動も多い仕事なんで、**予防がちゃんと出来てるのかなとか、**
知識がちゃんと持ててない**不安がすごくある**んですよ。

藤井：

なので、今回は**新型コロナウイルスについての情報をお伝えしていきます。**

田村：

これは非常に助かります、本当に。

藤井：

先日、新型コロナウイルス感染症と予防法についての講演会が
保健センターで行われました。

最初は多くの市民の皆さんに公開する予定だったんですが、

感染症の拡大防止のため無観客で行われました。

講演内容を録画したものが市のホームページで公開されているんですね。

今日はその内容をまとめてお伝えしていきたいと思います。。

田村：

ありがとうございます。助かります。

藤井：

まず、新型コロナウイルスって一体何かというところから。

田村：

そもそも何やねん、と。それ教えて。

藤井：

新型コロナウイルスは、小さな微生物で感染症の原因となるんです。

田村

生き物なんや。

藤井：

でも、細菌とは違うので抗生物質が効かないんですね。

有効な薬やワクチンが開発されていないというのが知られていますよね。

現時点では、飛沫感染、しぶりが飛ぶ飛沫感染と、接触感染、手の汚れが口に付いちゃったりとか、物を介して感染するこの2つが考えられているそうです。

田村：
なるほど。

藤井：
新型コロナウイルスは口、鼻、気管など呼吸器に感染します。なので、鼻水とか喉の痛み、痰などの症状が出るんです。炎症が起こるので、ほとんどの方が発熱の症状が出ているんですが、全身の倦怠感なども出るということです。

田村：
だるさも出ると。こんなんって、ここだけでいうたら、今のシーズン、花粉症でもおきるじゃないですか。だから判断難しいですよ。もちろん発熱の症状がしっかり出てくれば分かりやすいんですけど、意外と（症状が）出ないという話も聞きますから。

藤井：
しかも、インフルエンザも流行っていて、インフルエンザでも高熱が出るので、すごく紛らわしいというか、判断が難しいところなんですよ。では、コロナウイルスに感染したかもと感じた場合どうすればいいか。

田村：
「熱あるぞ。喉痛いぞ。これ、ヤバイんちゃう？」と思ったときどうしたらいいの？

藤井：
風邪の症状だったり、37.5度前後の発熱が4日程度続いている場合、強いだるさ、倦怠感や息苦しさがあるという場合は、新型コロナ受診相談センターに連絡を入れて、指示に従って受診をお願いします。電話番号を06-6339-2225で24時間受け付けているということです。私も田村さんも、田村さんのところは生まれただてですからね、赤ちゃんが家にいる、小さな子どもさんがいるという場合は、子供にウイルスをうつしちゃいけないという面でも心配になりますよね。

田村：
心配ですよ。お母さん、奥さんにうつしたら、一家崩壊するでしょ。

藤井：

不安ばかりが先行してしまうんですが、きちんと予防することで感染を防ぐことができますので、ここからは予防策を紹介していきたいと思います。

田村：

できることをやって、なったらしょうがないよね。ここまできたら。

藤井：

予防するしかないですからね。

田村：

どうやって予防したらいいか教えてください。

藤井：

まず大事なのは、ウイルスを家に持ち込まないことです。
そのために、外出先から帰ってきたらすぐに手洗い、うがいをしましょう。
ちゃんとやってますか？

田村：

やってます。

藤井：

スマートフォンも、ちゃんと拭いてます？

田村：

え！？何！？

藤井：

スマートフォンにも菌が沢山ついてるんですって。
携帯電話とかスマートフォン、電車の中とかで使ったりするじゃないですか。
それも綺麗にして、菌を持ち込まないようにしましょう。

田村：

そうや。全然してへんわ。

藤井：

更に、家の中で拵げない方法なんですけど、
小さなお子さんって、家の中のいろんな所を触ってしまいますよね。
なので、普段の掃除にプラスして、子どもが触りそうな所を
拭き掃除してあげると効果的です。
その際には、洗剤や消毒液などを使用しましょう。

ポイントなのですが、拭き掃除はドアノブとかリビングのリモコン、電気のスイッチなど、家族が特に良く触る所を中心にしてください。

田村：

風邪、インフルエンザ、もともと全部これやって。
父親が手に菌つけて持って帰ってきて、これでうつるってね。

藤井：

でも最近は除菌ウエットティッシュとか品薄で全然手に入らないですよ。

田村：

もう売ってないよね。

藤井：

そういう時は、以前この番組でも感染症対策の際に紹介した「次亜塩素酸ナトリウム液」が使えるそうです。
用途によって濃度が違うんですが、消毒する時には0.1%に薄めて使ってください。

田村：

0.1%。

藤井：

その濃度で使うと消毒に使えるそうです。

田村：

だいぶん薄まりますね。0.1%やんね？ 1%じゃなくて。

藤井：

0.1%です。
家庭で実践する感染対策のまとめがこちらです。
家に帰ったらすぐに手を洗いましょう。
外で使ったものも拭き取ったり、洗ったりして、(菌を)持ち込まないようにしましょう。
日ごろの掃除にプラスして拭き取り掃除を追加しましょう。
拭き取り掃除は家族が特によく触るところをおこないましょう
ということです。

田村：

わかりました。みんなで予防して、拡げるのをストップして、なんとかやっつけましょう。人類全員が協力して。

藤井：

協力してみんなで防ぎましょう。

ここまで、詳しくお伝えしましたが、この情報だったり講演会の動画も市のホームページで発信しています。

市のホームページでは、新型コロナウイルス感染症についての最新情報も発信していますので、ぜひ見てください。

Q&Aなどもまとまっていますので、ご覧ください。

また市では新型コロナウイルス感染症に関するコールセンターを開設しています。市の施設や幼稚園などの対応や各種問合せなどを受け付けています。詳しくはご覧の通りです。

田村：

だいたい思った質問ってQ&Aに入ってるよね。

藤井：

Q&A見る方が待ち時間もなくスムーズに、いろんな人の手を煩わせることもないので、ご覧ください。

以上、ここまで新型コロナウイルスに関する情報をお伝えしました。

田村裕のワンポイント手話（1分30秒）

田村：

続いては特集です。

藤井：

今年は何といってもオリンピックイヤーということで、
楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。

以前トピックスでも紹介した

高橋尚子さんのランニングクリニックなど

メダリストに直接教えてもらう機会って貴重ですよ。

田村：

そりゃ貴重ですよ。説得力が違いますからね。

藤井：

メダリストですからね。

田村：

そうそう。その成功体験を持ってるってなかなかいませんから
その人に直接話を聞けるっていうのは有難いですね。

藤井：

そんな機会が吹田でもあるんです。

今回は吹田で頑張る、ある五輪メダリスト取材しました。

TIME	内容
	<p><u>ナレーション</u> 吹田市には、この地を発祥とする全国的に有名な企業が多くあり、新たな事業にチャレンジする企業もたくさん存在します。実は、開業率も大阪府内で3位と高い水準を誇っています。今回は、体操選手として北京オリンピックに出場し、団体で見事銀メダルを獲得。現在は市内で体操を指導している、あるメダリストを追いました。</p> <p><u>タイトル「吹田で頑張る起業家！あるメダリストの挑戦」</u></p> <p><u>ナレーション</u> 垂水町にある「沖口まこと体操クラブ」。こちらは、体操を通じて子供たちを笑顔にし、そして自信を持たせるという目的で作られた体操教室です。この教室を運営しているのが、こちらの沖口誠さん。沖口さんは北京オリンピック体操の団体総合で銀メダルを獲得。その後、選手の育成などに関わり、去年の5月、垂水町で体操教室を開きました。</p> <p><u>ディレクター</u> 現在、生徒の数は？</p> <p><u>沖口さん</u> 大体90人くらいです。</p> <p><u>ディレクター</u> なぜ吹田市に体操教室を？</p> <p><u>沖口さん</u> 吹田市は子供の数がすごく増えているっていうのと、教育環境が良くて水準が高いというところで、体操を吹田市で指導したいなと思って、それがきっかけですね。</p> <p><u>ナレーション</u> 沖口さんは大阪の南部、熊取町の出身。小学校3年生の時に、地元の体操教室に入り、その魅力に魅せられました。</p> <p><u>沖口さん</u> その時、本当にすごく楽しくて「次の体操はいつ？」って親に聞くぐらい楽しかったの。やっぱり「楽しい」ってことは続けられるし、いろんなことに興味が出るきっかけになると思うので、すごく大切だと思います。</p>

ナレーション

指導方法は、とにかく褒めること。

自身もそうだったように、子供たちは褒められることで、次のステップに挑戦する意欲が湧いてくるそうです。

(VTR音生かし)

ナレーション

教室を始めて、まもなく1年。何か気づいたことはありましたか？

沖口さん

ジャンプとか、そういうことが苦手なお子さんが多いなという印象はありました。公園で遊んだりだとか、外で遊ぶ機会が減っているというのもあるのかなと感じてるんですけど。

ナレーション

想像以上に体を動かせない子供が多い。

例えばジャンプをしても、止まることができずに手をついてしまう子供が非常に多いそうです。

沖口さん

コツというのがあると思うんですけど、細かいことは言わずにそういったことを言うだけで子供たちは頭が良いので対応していくというのかな？ 練習したら段々段々、できるようになるんですよ。そして子供たちも「見て見て」って言うようになってきたんで、自信がついてきたのかなと思っています。

ナレーション

実は沖口さん、教えているのは体操だけではありません。

全国に名だたる強豪、梅花中学校、高等学校のチアリーディング部でアクロバット部分のコーチもされているんです。

ゆっくりすることが苦手だという沖口さん。

取材の時も、ずっと動いていらっしかったです。

もちろんスケジュールは常に真っ黒。走り回ることが性に合うんでしょうね。

体操クラブが休みの月曜日。

沖口さんはこんな場所にいました。そう、関西大学。

実は関西大学器械体操部のコーチも行っているんです。

(VTR音生かし)

ナレーション

ここではいつもの笑顔はありません。

沖口

（もっと技を）入れていけよ、演技に。そんなに入ってないやん。
どんどん入れていって。単発で立つ練習は、やってるよな。
ちょっと練習不足じゃない？

ディレクター

体操教室とこのようなクラブでは教え方は違います？

沖口さん

精神面とか試合への臨み方とか、そういったところを中心に指導したりとか。
レベルの高いというか、難しい技にも挑戦するので、しっかりと
気を引き締めてやることが大事なので、体操教室とは違いますね。

ナレーション

ここで指導を受けている選手にもお話を聞きました。

女性選手

最初は怖かったんですけど、面白い方です。

ディレクター

厳しいところはある？

女性選手

体操の話になると、すごく厳しいです。

男性選手

たまに自分で動いたりすることがあって、すごい上手いなあって、
見本になります。

ナレーション

この日は終始、アスリートの顔をしていた沖口さん。

沖口さん

選手を育てると言うのは、どうしても厳しくなったりするんですけど。

ディレクター

沖口さん自身はどちらが好きですか？

沖口さん

どちらの良さもあるので、なんともいえないんですけど、今は体を動かして楽しい。また来たいと言ってもらうために指導しているので、選手を指導するっていうよりは、体操が初めてな子たちに「楽しい」「もっとしたい」って言わしたいなと思っていますけど。ちょっと選べないですね。

ナレーション

午後9時半。全ての教室が終わると事務仕事を行います。これも日課。ここから沖口さんは経営者の顔になります。この日チェックしていたのは新しいホームページ。

ディレクター

こういったことも、全部自分で考えているんですか？

沖口さん

いや。ホームページを作って頂ける人と相談しながら。YouTube もまだ載せてないんで、そこを少しずつでもやっていくのと。

ディレクター

こういう体操クラブを運営する上で、銀メダルの経験というのは役立ちますか？

沖口さん

そうですね。銀メダルを取ったということは直接は関係ないんですけど、やっぱり銀メダリストというだけで反応が変わるっていうか、なんて言うんですかね、有利に働くことが多いというのはありますけど、それ以外にも商工会議所だったりとか、自分がまず学ぶ姿勢を持つという事が一番必要じゃないかなと思っています。

ナレーション

沖口さんは体操教室をオープンするにあたり、吹田商工会議所主催の創業塾に参加していたんです。

沖口さん

知識を学ぶだけじゃなくて、人と人のつながりが出来たのが一番、創業塾に行ってもよかったなと思いました。

ナレーション

実はこの体操教室のロゴ、商工会議所で知り合ったデザイナーさんが考えてくれたそうです。

沖口さん

自分だけだったらロゴとか作ってなかったんで、ロゴがあることによって認知度が高まる、そういった事も知れたりだとか、勉強になりました。

ナレーション

このシャッターに描かれた図柄もその方が考案してくれたそうです。

沖口さん

話してて勉強になる事もありますし、子供たちも楽しんでくれてるので、本当に吹田で良かったなと思ってます。

ディレクター

沖口さんの今後の展望は？

沖口さん

今後は、イベントとかにも参加してたりするんですけど、イベントにゲストとして参加してて、これからは自分で企画して自分で主体的にイベントを開いていきたいなど。やっぱり体操教室をやって、子供たちに言っているように「挑戦なくして前進はない」という、それを子供たちにも伝えてるので、私も今までの人生でそう思っているんで、いろいろチャレンジしていきたいと思います。

ナレーション

体操が好きで好きでたまらないメダリストが作った体操教室。
将来、吹田から新たなメダリストが誕生するかも知れません。

TIME	内容
	<p>田村： 夢あるわー。すごい人やね、やっぱりメダリストになるくらいやから。</p> <p>藤井： 淡々とお話ししながらも、すごくエネルギッシュでしたね。</p> <p>田村： （仕事を）まだどんどん増やそうとしてるしね。 バイタリティが半端ないし、準備力がすごいよね。 普通にあれだけの体操選手としてのキャリアがあったら そのままジム開いちゃうよね。 でもちゃんと、ああやって準備して、勉強して、ロゴとか作って、 「こういうことを世の中の経営者はやってるのか」って学んでから スタートしてるから。</p> <p>藤井： 商工会議所の中での吹田の人達同士の繋がりからロゴが生まれてるって いうのが良いですね。</p> <p>田村： 失敗体験も聞いたやろうし、いろいろ勉強になりますよね。大事やな。</p> <p>藤井： ホームページがVTRの中でもありましたが、そこで教室の情報などを 発信しています。1日体験教室もしているみたいで、大人向けの教室も あるそうです。</p> <p>田村： バク転とか覚えたいもんな。</p> <p>藤井： バク転できないんですか？</p> <p>田村： 出来ないんです。だいたい出来へん人のほうが多いやろ。</p> <p>藤井： いや、出来そうだから。バスケとかしてるし。</p>

田村：

逆上がりくらいやったら分かりますけど、なんでそんなに言われなあかんのですか。バク転出来なくてもいいでしょ、別に。

藤井：

バク転挑戦の企画が見たいなと思って。

田村：

やりたいですね。エネルギーいただきました。

藤井：

そうですね。忙しくしようって思いましたね。

田村：

はい、頑張りましょう。

藤井：

今回は吹田で頑張る、オリンピックメダリストを紹介しました。

TIME	内容
<h2>田村裕のすい散歩</h2>	
	<p>田村（ナレーション） 田村裕のすい散歩。今回も北千里駅前を歩きます。</p> <p>田村： おいくつですか？</p> <p>女性1： 高校2年です。</p> <p>田村： あっ高校生？大学生くらいかなと思った。高校生なんや、え～。 何して遊ぶの？今日は。</p> <p>女性1： ゲーム。</p> <p>田村： なんのゲーム？</p> <p>女性1： スイッチ。</p> <p>田村： へ～、何が面白いの？今</p> <p>女性1： マリオカート。</p> <p>田村： マリオカート？おじさんの時もマリオカートやったわ。 おじさんの事知ってる？</p> <p>女性1： 名前が…。</p> <p>田村： 顔見たことある？漫才師やねんけど。動物の名前のコンビ名。</p>

女性1：
犬。

田村：
犬（笑）。犬っぽい？
じゃあ高校生のお姉さんに聞きたいんですけど、じゃじゃん！
「春と言えば？」、お姉さんにとって春と言えばなんですか？

女性1：
進学。

田村：
進学？やっぱそうやんなー。学生さんにとっては進学の時期よねー。
じゃちょっとこれから大変な1年間になるけど、頑張っていていい大学入って
吹田にお金落としてください。

田村：
こんにちは。あっあららら、すげー！
みなさんわからんと思いますけど、ワシントンウィザーズという八村塁くん
日本人でね2人目のNBA選手になった方のチームのキャップを…。
ちなみになんで八村くんの帽子を…八村くんと言うかワシントンの…。

男性1：
いや、ゴルフ場で売ってたから買って被った…。

田村：
まさかの…（笑）八村くんに思い入れがあるとか？

男性1：
ないない。

田村1：
バスケットも？

男性：
ない！

田村：
え～！言われませんか？

男性1：

言われる。

田村：

ですよー！

男性1：

よかったから買っちゃった。

田村：

(笑) そうですね。吹田の方ですか？

男性1：

福岡。

田村：

福岡から？

男性1：

大学の物件探し。

田村：

娘さん？

男性1：

むすめ。

田村：

あ～そうですねー！いや～これはまた春らしい。
もう見て来られたんですか？

男性1：

今契約して。

田村：

えっもう契約してきた？

男性1：

銀行行って通帳作ろうかなと。

田村：

あーなるほど、そうか。ここで暮らすからそういうのも必要になってきますもんね。どんなキャンパスライフを想像してますか？

娘：

管理栄養士の資格を取るために…。

田村：

えーすごいやん。

実はね今日これをみんなに聞いてまわってまして、春と言えば、じゃあ福岡のお父さん春と言えばなんでしょう？

男性1：

酒。

田村：

あれ？

男性1：

花見。

田村：

あー結局そうか。花見酒。酒はいつでもでしょ？

男性1：

そうですね。今日朝新幹線で来て、昨日も5時4時まで飲んでて。

田村：

マジですか。まだまだ朝までいける？

男性1：

いけますね～。(笑)

田村：

(笑)若い、素晴らしい。

田村：

どうも、ちょっとだけお時間よろしいですか？

男性2：

はい。

田村：
今日はどちらに行かれるんですか？

男性2：
今から帰ります。

田村：
あっ今から帰られるんですか。何を買われたんですか？

男性2：
花を。

田村：
あっお花を。

男性2：
春の花を。

田村：
あっいいじゃないですか。

男性2：
全然そんなことないんですけど。

田村：
こんな質問みんなにしてまして。春と言えばという質問してるんですけど、お父さんにとって春と言えばなんですか？

男性2：
そうですねえ、たけのこ、菜の花。

田村：
やっぱり春の食べ物、旬の食べ物が美味しい。
ちなみに僕の事ってわかりますか？

男性2：
漫才師の方ですね。麒麟さん…。

田村：
おーありがとうございます！さっき犬って言われたんですよー。

男性2：

あーそうですか。

田村：

よかった、麒麟に戻れました、やっと。ありがとうございます。
じゃあ風邪ひかないように、今日寒いのでね。
春のお花を持ってお気をつけてお帰りくださいませ。

田村：

お二人は今お工作中ですか？

女性2：

そうなんです。

田村：

これはなんの…？

女性2：

そのクリニックです。内科です。

田村：

お姉さんは？看護…？

女性2：

受付をしてます。

田村：

受付もこの恰好なんや。
で、お姉さんは？

女性3：

私は管理栄養士です。

田村：

ここでつながった管理栄養士に。先ほどね、ちょうどねインタビューした
女の子が管理栄養士になりたいって言って。

女性3：

へ～。

田村：
ちょっと呼んでくるんで1時間ぐらい教えてあげてもらって…（笑）

なんてなんてなんて？

女性4：
先生ね、ヘアスタイルが決まらないんで、ちょっと出演NG（笑）

田村：
なにそれ。どんな大御所タレントなん。
ヘアスタイルが決まらんから出演NG。
今どき女優さんでも言わないですよ。
お姉さんは何をする人？

女性4：
私おなじ…

田村：
管理栄養士？

女性4：
そうです。

田村：
管理栄養士そんなに雇ってるんや。

女性3：
結構多いですね。

田村：
じゃあもう一人春から大学生の子が、4年後に出てくるので…。
福岡から出てきた女の子です。今日マンション契約決めたいみたいです。

田村：
さあそれではこんなお三方にこれを聞きたいんです。春と言えば？

女性2：
花見！

田村：
花見、毎年行かれますか？

女性2：
行かなくても、この辺はキレイなんで。

田村：
どこもかしこも桜だらけになりますよね。この辺はね。

女性2：
通勤するだけで花見。

女性3：
クラス替えとか。

田村：
あーいいねー、ドキドキしたねー。たしかにねー。
何歳くらいの時の？小学校とか？中学校くらい？好きな人がクラスにいた？

女性3：
あー、一緒やーみたいな（笑）

女性4：
ネタ尽きちゃった。

女性3：
（毛虫、毛虫）

女性4：
毛虫！

田村：
春と言えばで一発目毛虫出てくる！？ 毛虫で…。桜からでしょ？
花見の流れがないと、急に毛虫言うたらあの子頭おかしいんか思われるよ。

女性2：
じゃあ切られるってことですね。

田村：
カットかどうかわからへんけど。急に毛虫って頭おかしい子やからね。
「桜で思い出したんですけど」とかが無いと。

女性4：

桜で思い出したんですけど（笑）

田村：

編集点作らんでええわ！

春っぽいメニューちょっと…桜の毛虫団子とか…毛虫しんじょうとか作って
もらっていいですか？

女性4：

訴えられます。

TIME	内容
	<p>ナレーション（藤井） 吹田市広報番組「お元気ですか！市民のみなさん」。今回の放送はここまで。 次回の更新日は4月1日です。放送内容はご覧の通りです。 次回もぜひ、ご覧ください。</p>